

路面太陽光発電技術に関する公募を開始します

～ 道路でエネルギーを創出し、再エネのさらなる活用を目指します ～

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、道路分野においても脱炭素社会の実現に貢献していくため、道路でエネルギーを創出し、再エネのさらなる活用を進めていく必要があります。

この度、路面太陽光発電技術について求める性能等を確認するため、道路技術懇談会を経て導入促進機関として選定された「一般財団法人 国土技術研究センター」において、新たな技術を公募します。

1. 公募期間： 令和5年3月6日（月）～令和5年4月28日（金）

2. 公募要領及び応募様式：

下記ホームページより、公募要領及び応募様式をダウンロードできます。

<https://www.jice.or.jp/roadtech/rs-pv>

3. 公募に関する問い合わせ：

一般財団法人 国土技術研究センター 道路政策グループ 路面太陽光発電技術担当

TEL:03-4519-5002 E-mail:rs-pv@jice.or.jp

※本技術公募は、新技術導入促進計画に基づいて実施され、令和4年5月10日に開催された道路技術懇談会を経て導入促進機関として選定された「一般財団法人 国土技術研究センター」が行います。

※新技術導入促進計画、道路技術懇談会の資料等は下記ウェブサイトで公開しています。

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/dourogijutsu/>

<問い合わせ先>

① 技術公募について

国土交通省関東地方整備局道路部道路管理課

課長補佐 山口（内4413） TEL:048-601-3151（代表）

② 新技術導入促進計画に記載の路面太陽光発電技術について

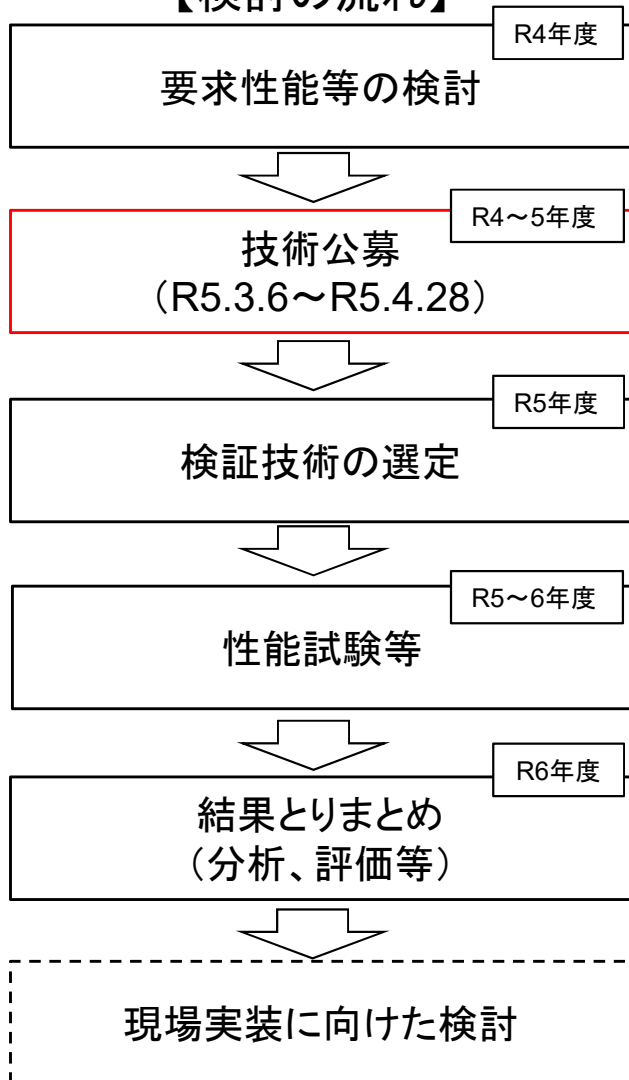
国土交通省道路局環境安全・防災課

課長補佐 柴山（内38232） TEL:03-5253-8111（代表）

新技術導入の概要

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、道路分野においても脱炭素社会の実現に貢献していく必要。
- 路面太陽光発電技術の実現可能性について、求める性能等を確認するため、新たな技術を公募。

【検討の流れ】



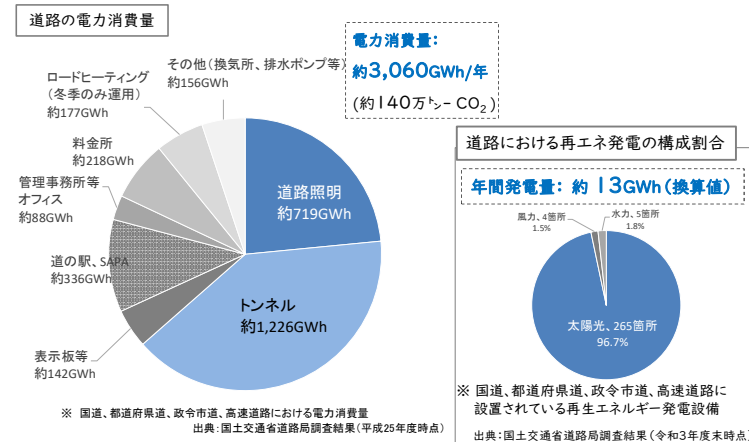
<求められる技術>

- ① 大型車両等を含めた交通荷重への対荷性や、地震、浸水等の災害に対する耐久性
- ② 道路管理用電力へ活用できるよう、十分な発電量・発電効率が発揮される
- ③ 低コストかつ容易に施工・維持管理が可能であり、道路交通に支障が生じないよう、破損時の早急な修繕等が可能

<要求性能、評価基準>

- 道路本体に関する要求性能
機能性、安全性、維持管理性
- 路面太陽光発電パネルに関する要求性能
耐荷性能、耐久性能、環境性能、機能性
- システム全体に関する要求性能
耐災害性能、施工性、安全性

(参考)再生可能エネルギーの活用状況



(参考)限られた道路空間を有効活用するため、太陽電池を組み込んだ道路舗装システムの技術開発、活用が国内外で進められている



フランス(Colas社製品)

オランダ(Ooms社製品)